

食育に関連する事務事業調査票【記入要領】

調査対象事業

- 本調査の対象事業は、次の分野に該当する事務事業とします。
- 事務事業は、毎年継続して実施しているもののほか、市民向けの講座など当該年度に実施した事業等も含めることとします。

【食育に関する分野】

A 家庭における食育の推進	
分野 記号	A-1 望ましい食習慣の確立
	A-2 妊産婦や乳幼児に対する食育の推進
	A-3 食に対する感謝の気持ちの涵養
	A-4 男女共同参画を踏まえた食育の推進
B 学校・保育所等における食育の推進	
分野 記号	B-1 子どもの発達段階に応じた食育の推進
	B-2 保護者への普及啓発
	B-3 給食を通じた食育の推進
	B-4 高校・大学等における食育の推進
C 地域における食育の推進	
分野 記号	C-1 食育推進運動の展開
	C-2 食育推進に係る人材の育成・支援
	C-3 関係団体・事業者等の連携による食育の推進
	C-4 職場における食育の推進
D 農林水産業とのふれあい、地産地消の推進や食文化の継承と振興	
分野 記号	D-1 農林水産業の体験・交流活動の推進
	D-2 地産地消の推進
	D-3 食文化の継承と振興
E 食の安全・安心の理解と推進、環境との共生	
分野 記号	E-1 食品の安全性に関する知識と理解の推進
	E-2 環境との共生
F その他（分野記号:F）	

- 1 「部課等名」及び「事業名」を記入してください。
- 2 「分野記号」には、上記【食育に関する分野】を参考に、該当する記号を記入してください。
なお、複数該当する場合は、主たる分野記号を先頭にし、全て記入してください。
- 3 「根拠法令等」については、当該事務事業の実施について規定する法令や行政計画等がある場合に記入してください。
- 4 「事業概要」には、当該事業の内容を、また、「事業実施年度」には、事業の始期と終期を記入してください。（※始期が不明な場合や、終期が設定されていない場合は、空欄で可。）
- 5 「平成27年度実績」・「平成28年度予定」について記入してください。
また、「事業費」については、当該事務事業に要した（する）経費で、把握できる範囲で記入してください。（※把握が困難な場合は空欄で可。）
- 6 「今後の方向性」は、継続・見直し・廃止のいずれかを選択してください。
また、「見直し」の場合には、見直しの内容（概要）や方向性（拡充・縮小等）等について記入してください。

7 以下の指標のうち、貴課の事業と関連がある指標を選択してください。

【第2次食育推進計画における指標一覧】

	指 標
①	食育に関心を持っている市民の割合
②	朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数
③	朝食を欠食する市民の割合
④	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている市民の割合
⑤	肥満や内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している市民の割合
⑥	よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心がある市民の割合
⑦	食事の時間が楽しいと感じている市民の割合
⑧	食品の安全性に関する基礎知識を持っている市民の割合
⑨	食物アレルギーに関する知識を持っている市民の割合
⑩	外食や食品を購入する時に、栄養成分表示を参考にする市民の割合
⑪	自分で料理する機会が週に1度以上ある市民の割合
⑫	食文化(伝統食や食事のマナーなど)を大切にしている市民の割合
⑬	適正体重と判定される児童・生徒の割合
⑭	農林漁業体験を経験した市民の割合
⑮	食育の推進に関わるボランティアの数
⑯	環境にやさしい農業に取り組むエコファーマー認定者
⑰	学校給食における地場産物を使用する割合

【食育推進のための取り組み（分野記号）】

A 家庭における食育の推進

分野 記号	A-1	望ましい食習慣の確立	24事業
	A-2	妊産婦や乳幼児に対する食育の推進	4事業
	A-3	食に対する感謝の気持ちの涵養	9事業
	A-4	男女共同参画を踏まえた食育の推進	2事業

B 学校・保育所等における食育の推進

分野 記号	B-1	子どもの発達段階に応じた食育の推進	18事業
	B-2	保護者への普及啓発	7事業
	B-3	給食を通じた食育の推進	10事業
	B-4	高校・大学等における食育の推進	2事業

C 地域における食育の推進

分野 記号	C-1	食育推進運動の展開	9事業
	C-2	食育推進に係る人材の育成・支援	8事業
	C-3	関係団体・事業者等の連携による食育の推進	8事業
	C-4	職場における食育の推進	1事業

D 農林水産業とのふれあい、地産地消の推進や食文化の継承と振興

分野 記号	D-1	農林水産業の体験・交流活動の推進	7事業
	D-2	地産地消の推進	6事業
	D-3	食文化の継承と振興	10事業

E 食の安全・安心の理解と推進、環境との共生

分野 記号	E-1	食品の安全性に関する知識と理解の推進	9事業
	E-2	環境との共生	9事業

F その他（分野記号:F）	4事業
---------------	-----

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
総合政策部	1	広報紙等発行事業	A-1 B-1 B-2 B-4 C-1 C-3	①	H21～	<p>○市の重要施策や生活・健康・趣味に関する情報、さらには市民が主体的に活動している状況を紹介・掲載するなど、市民の多種多様なニーズに応えた市政情報紙として「広報いわき」を毎月1日に発行している。</p> <p>○食育に関する取り組みやイベントなどを適時適切に掲載し、広く市民に食育に関する広報を行っていく。</p>	<p>○「広報いわき」を毎月1回、127,000部／月を発行し、「いわきっ子-いきいき健康やか食育教室」の開催案内(7・10・2月)。</p> <p>・第2回「いわきわか」食育フェスタの開催案内(9月)。</p> <p>・平成27年度食育フェスタの開催案内(9月)。</p> <p>・平成27年度食育フェスタの開催案内(9月)。</p> <p>・市食育推進委員の募集案内(9月)などを掲載した。</p>	23,372千円	継続	
						<p>○「広報いわき」を毎月1回、127,000部を発行。</p> <p>○適時適切に、食育に関する取り組みやイベントなどを掲載し、広く市民にお知らせする。</p>	25,380千円	継続		
市民協働部	2	父と子の料理教室	A-4	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	H15～	<p>親子向けの講座は、固定的な性別による役割分担意識、職について考えるきっかけをつくり、男女共同参画社会を実現するための意識の醸成を図ることを目的としており、その一環として父親が子どもと一緒に参加する料理教室を開催し、父と子のふれあいを深めるとともに、男女共同参画意識の醸成を図る。</p> <p>【根拠法令等】いわき市男女共同参画推進条例</p>	<p>実績なし</p>	—	継続	
						<p>平成28年7月に親子料理教室を開催予定。</p>	—			

平成28年度 食育に関する事務事業一覽

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
市民協働	3	特定健康診査事業	C-1	① ③ ④ ⑤	H20～	<p>実施年度中40歳～75歳未満の国民健康保険加入者を対象として、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健康診査を実施し、生活習慣病の該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする者を抽出し、抽出された者に対して、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定保健指導を実施する。</p> <p>【内容】</p> <p>①特定健康診査 基本的な健康診査項目(質問項目、身体計測(体重、腹囲、BMI等)、理学的検査、血液検査、尿検査他)及び心電図検査、眼底検査、貧血検査等を行う。また、健康診査結果に基づき階層化(特定保健指導対象者の抽出)を行う。</p> <p>②特定保健指導 階層化された特定保健指導対象者(動機付け支援レベル、積極的支援レベル)に対し、生活習慣改善のための目標設定及び行動計画作成、運動習慣や食習慣等を改善するための支援を行う。</p> <p>【根拠法令等】高齢者の医療の確保に関する法律</p>	<p>○特定健康診査(医療機関)及び集団健康診査(検診車)により実施。 (平成27年5月～平成28年1月) 受診状況:受診数 18167人 受診率 29.3%(国保途中加入・脱退含む暫定値) 階層化内訳:動機付け支援対象者 1,402人 積極的支援対象者 451人 ○特定保健指導 委託(いわき市医師会)及び市直営(各地区保健福祉センター)で実施。 (平成27年4月～平成28年3月) 動機付け支援 初回面接:152名 利用率:10.8% 積極的支援 初回面接:35名 利用率 7.8%</p>	208,044千円	継続	
労働	4	ごみ減量・リサイクル推進事業	E-2		—	<p>3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)を基本とした循環型社会の構築を目指すため、リサイクルプラザの利用等による市民・事業者の意識啓発事業や、ごみ減量化に向けた各種施策を展開する。</p> <p>【根拠法令等】循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法、資源有効利用促進法</p>	<p>○特定健康診査(医療機関)及び集団健康診査(検診車)により実施。 (平成28年5月～平成29年1月) ○特定保健指導 委託(いわき市医師会)及び市直営(各地区保健福祉センター)で実施。(平成28年4月～平成29年3月)</p>	266,267千円	継続	
清掃						<p>○特定健康診査(医療機関)及び集団健康診査(検診車)により実施。 (平成27年5月～平成28年1月) 受診状況:受診数 18167人 受診率 29.3%(国保途中加入・脱退含む暫定値) 階層化内訳:動機付け支援対象者 1,402人 積極的支援対象者 451人 ○特定保健指導 委託(いわき市医師会)及び市直営(各地区保健福祉センター)で実施。 (平成27年4月～平成28年3月) 動機付け支援 初回面接:152名 利用率:10.8% 積極的支援 初回面接:35名 利用率 7.8%</p>	2,189千円	継続		
生活環境						<p>○特定健康診査(医療機関)及び集団健康診査(検診車)により実施。 (平成27年5月～平成28年1月) 受診状況:受診数 18167人 受診率 29.3%(国保途中加入・脱退含む暫定値) 階層化内訳:動機付け支援対象者 1,402人 積極的支援対象者 451人 ○特定保健指導 委託(いわき市医師会)及び市直営(各地区保健福祉センター)で実施。 (平成27年4月～平成28年3月) 動機付け支援 初回面接:152名 利用率:10.8% 積極的支援 初回面接:35名 利用率 7.8%</p>	2,428千円	継続		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
生活環境部	5	家庭用生ごみ処理機等普及促進事業	E-2	①	H5~	生ごみの減量や堆肥などを推進するため、「家庭用生ごみ処理機」の購入補助を実施するもの。 【根拠法令等】いわき市家庭用生ごみ処理機等購入補助金交付要綱	H27 (実績) ・生ごみ自家処理容器(コンポスト・密閉型) 49件 ・家庭用生ごみ処理機 13件	360千円	継続	
							H28 ・生ごみ自家処理容器(コンポスト・密閉型) 45件 ・家庭用生ごみ処理機 15件	398千円		
保健福祉部	6	地域包括ケア推進事業	A-1	①③④⑥⑦⑩	H18~	低栄養状態またはそのおそれのある高齢者に対し、低栄養状態を早期に発見し、食生活を通じた栄養状態の改善及び口腔機能の維持向上を目的とし、自分らしい生活の確立と自己実現を支援することを目的とし、事業を実施するもの。 【根拠法令等】介護保険法、地域支援実施要綱、第7次高齢者保健福祉計画	H27 (実績) 【通所型事業】 開催回数:40回 参加人数:実人数58人、延べ人数232人 【訪問型事業】 開催回数:2回 参加人数:実人数 2人、延べ人数 2人 【通所型事業】 開催回数:36回 参加人数:実人数135人、延べ人数374人 【訪問型事業】 開催回数:2回 参加人数:実人数 3人、延べ人数 6人	1,946千円 2,767千円	見直し	介護保険法地域支援事業実施要綱の改正等により、介護予防二次予防事業の実施方法及び内容について見直す。専門職による自分らしい生活の確立のほか、広く高齢者及びその支援者を対象にした栄養改善の普及啓発について検討中である。
							H27 (実績) 利用者数(平成28年3月末現在) 905人 利用食数(延べ) 146,809食	75,811千円	継続	
保健福祉部	7	配食サービス事業	A-1	①④⑦	H13~	高齢者の困難なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等に対して、定期的に居宅を訪問し、1日1食栄養バランスの取れた食事を提供することにより、生活の質の向上、孤立感の解消及び安否の確認を行う。更にはそれらを通じて地域の見守りネットワークを構築することも目的としている。 【根拠法令等】いわき市配食サービス事業実施要綱	H27 (実績) 高齢者配食サービス 委託料:88,781,700円 配食数 171,303食 初年度弁当:324,000円×1事業者=324,000円 H28 原簿特例法適用高齢者配食サービス 委託料:588,000円 配食数 1,176食	89,194千円	継続	

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
保健所生活衛生課 保健福祉部	8	食の安全フォーラム等	E-1	⑧	H20～	<p>○食品取扱者や消費者である市民に対し、食品衛生についての適切な情報発信を行い、正しい知識を身につけてもらうことにより、食品安全に関するリスクコミュニケーションの推進を図る。</p> <p>○内容 ① 講演 ② 質疑応答 等</p> <p>【根拠法令等】食品衛生法</p>	<p>H27 (実績)</p> <p>1回開催、47名参加 【テーマ】食の安全フォーラム△inいわき～正しく理解しよう！肉の生食リスク～</p>	29千円	継続	
							<p>H28</p> <p>1回開催予定 【テーマ】食と放射能に関する説明会</p>	60千円		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
保健所生活衛生課 保健福祉部	9	食の子ども探検隊(一日 食品衛生監視員体験)	E-1	① ③	H25~	<p>○小学生を対象に、行政の取り組みや食品営業施設での食品の取扱いを知ってもらうため、普段は立入ることができない、大型小売店(スーパー)のバックヤードへ食品衛生監視員とともに立入り、食品事業者がどのように食の安全に取り組んでいるのか、どのように消費者に安全・安心な食品を届けているのかを現場に見て、聞いて体験することで、食品の安全性について考え、自主的に食の安全・安心の確保に取り組む姿勢を育むことを目的とする。</p> <p>○内容 ① 姿態状の交付 ② 講習(食品衛生監視員の業務内容及び食品衛生について) ③ 手洗い実習 ④ バックヤード及び店頭の見学 ⑤ 感想発表及び意見交換 等</p> <p>【根拠法令等】食品衛生法</p>	H27 (実績) 1回開催、25人参加	32千円		
						H28 1回開催予定	45千円		継続	

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健所	10	食育推進事業	A-1	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮	H19～	<p>「第2次いわき市食育推進計画」の内容を踏まえ、本市の特性を生かした食育を総合的かつ計画的に推進する。</p> <p>【根拠法令等】食育基本法、いわき市食育推進計画</p>	<p>H27(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育推進委員会 2回開催 ○食育庁内推進会議 2回開催 ○食育講演会開催 ○食育フェスタの実施 ○食育モデル事業の実施 ○食育ウェブサイトによる食育の普及啓発 	1,686千円	継続	
			H28				<ul style="list-style-type: none"> ○食育推進委員会 2回開催 ○食育庁内推進会議 2回開催 ○食育講演会開催 ○食育フェスタの実施 ○食育モデル事業の実施 	1,613千円		
保健課	11	健康教育(栄養・食生活)	A-1	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮	H6～	<p>健康づくりには、食生活や運動・休養等の生活習慣が大きく関係することから、健康増進法及び食育基本法に基づき、市民に対して栄養やその他生活習慣の改善に関する栄養相談や栄養指導について重点的に取り組み、健康増進や疾病予防を図る。</p> <p>【根拠法令等】健康増進法、食育基本法</p>	<p>H27(実績)</p> <p>栄養・食生活に関する健康教育及び健康相談の実施(電話・来所による相談、講話(出前講座含む)、調理実習等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所・電話相談 89件 89人 ・健康教育(出前講座、調理実習会) 38回 1,232人 	—	継続	
			H28				要望に応じ随時対応。	—		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
保健所	12	いわきっ子・いきいき健やか食育教室(幼児期)	A-1 A-2 A-3	①② ③④ ⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩ ⑪	H18～	○幼児やその家族を対象とした食と子育てに関する学習の機会を提供し、健康づくりの基本である、正しい食事のとり方や美味しい食習慣の定着及び食を通じて人間性の形成等を図るとともに、児の心身の健全育成を図る。 また、楽しく食べる体験を通して、子どもの食への関心を育み、「食を営む力」の基礎を培う【食育】の実践を行う。 ○内容 ①食育に関する講話 ②親子でおいしい食事やおやつづくりの体験 ③試食を通じた楽しい食事の体験 ④他の母子との交流 【相模法令等】食育基本法、食育基本計画、新・いわき子育て支援計画、いわき市食育推進計画	H27 (実績) 11回開催 88組、179人参加 【幼児90人、保護者89人】	120千円	継続	
						H28 年11回開催予定。(平成28年4月～平成29年3月まで)	94千円			
保健課	13	いわきっ子・いきいき健やか食育教室(学童期)	A-1 A-3 B-2 C-1	①② ③④ ⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩ ⑪	H18～	○学童期の肥満児は増加傾向にあり、このことは将来的にメタボリックシンドロームや生活習慣病の発症に大きく関わる要因の一つである。そこで、学童を対象とした食に関する学習の機会を提供し、健康づくりの基本である、正しい食生活の知識を普及し、またそれらを通じて児童の心身の健全育成を図る。また、楽しく食べる幼児体験を通じて、子供の食への関心を育み、「食を営む力」の基礎を培う【食育の実践】を行う。 ○内容 ①食育に関する講話 ②調理実習(鍋で炊飯、だしの飲み比べ体験、味噌汁づくり) ③試食を通じた楽しい食事会 【相模法令等】食育基本法、食育基本計画、新・いわき子育て支援計画、いわき市食育推進計画	H27 (実績) 3回開催 対象者:学童期の児童(1年生～6年生)と保護者 参加人数:78人参加(児童44人、保護者34人)	46千円	継続	
						H28 年3回開催予定。児童(1年生～6年生)と保護者 対象者:学童期の児童(1年生～6年生)と保護者 募集人数:各回20組の親子	25千円			

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健所	14	食育インフォメーション (食育月間:6月)	C-1 C-3	①③ ④⑤ ⑦⑨ ⑩⑫	H19～	「第2次いわき市食育推進計画」の内容を踏まえ、本市の特性を生かした食育を総合的かつ計画的に推進する。 【根拠法令等】食育基本法、食育推進基本計画、いわき市食育推進計画	H27 (実績) ○6月15日(月)～6月19日(金)開催 ○開催場所:①総合保健福祉センター1階ロビー ②市役所本庁舎1階正面入り口付近 ○内容:①食育関係パンフレット配布、パネル掲示、栄養相談 ②食育関係パンフレット配布、パネル掲示 ○配布パンフレット数:①2,542部、②281部 ○栄養相談件数:237件	—		
							H28 ○6月中の5日間開催 ○開催場所、内容は未定	—	継続	
保健課	15	食育インフォメーション (食育の日:毎月19日)	C-1 C-3	①③ ④⑤ ⑦⑨ ⑩⑫	H19～	「第2次いわき市食育推進計画」の内容を踏まえ、本市の特性を生かした食育を総合的かつ計画的に推進する。 【根拠法令等】食育基本法、食育推進基本計画、いわき市食育推進計画	H27 (実績) ○毎月19日に「食育の日」において実施。 ○場所:いわき市総合保健福祉センター1階ロビー ○内容:食育事業の写真等の掲示を実施し、「食育の日」の定着を図る。	—		
							H28 毎月実施	—	継続	

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
保健所	16	特定給食施設管理指導事業	C-2 C-4	①④ ⑤⑧ ⑨⑩ ⑪	—	<p>特定給食施設及び小規模特定給食施設の喫食者に対して適正な栄養管理が実施され、給食施設の栄養管理等を通じて市民の健康増進が図られることを目的に、必要な指導及び助言を行う。</p> <p>【根拠法令等】健康増進法</p>	<p>H27 (実績)</p> <p>○実施日：平成27年7月から平成27年11月まで ○指導施設：42施設（医療機関を含む）巡回率 17.1% ○特定給食施設栄養管理指導票の交付：42施設 ○衛生行政報告例に基づく調査：246施設 ○いいわき市健康増進法施行規則による届け出</p>	106千円	継続	
							<p>H28</p> <p>○各施設の指導の必要性に応じて実施予定</p>	169千円		
保健地域	17	国民健康・栄養調査事業	F	③④ ⑤⑪	—	<p>○概要 健康増進法に基づき国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料として、国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにするため、厚生労働省からの調査地区指定通知により実施する。また同指定地区において歯科疾患実態調査も行われる。</p> <p>○調査 H28年度は健康および栄養に関するデータを都道府県比較ごとに比較分析をするため拡大調査を実施する。平成22年国勢調査により設定された地区から無作為抽出された地区を実施。本市の人口割合から、従来の国民生活基礎調査での地区300単位地区から最大2地区と拡大分700単位地区から最大3地区の指定が見込まれる。</p> <p>①調査期間 10月～11月 ②調査内容(身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣調査、歯科疾患調査)</p> <p>【根拠法令等】健康増進法</p>	<p>H27 (実績)</p> <p>調査対象地区：該当地区なし</p>	0千円	継続	
							<p>H28</p> <p>厚生労働省から該当地区指定通知により実施。</p>	2,628千円		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
保健所	18	地域保健関係職員等 研修会 (栄養改善担当者研 修)	C-2	①④ ⑤⑬	H11～	<p>栄養・食生活の業務等に従事している者を対象とし、地域住民の食生活の改善と向上及び生活習慣病の予防を図るため、栄養・調理技術及び、衛生の管理等、栄養に関する基本的事項及び新しい健康情報を得ることを目的に実施する。</p> <p>【根拠法令等】食育基本法</p>	<p>〇いわき市総合保健福祉センター1階多目的ホール 知識者：特定給食施設(管理者、管理栄養士、栄養士、調理従 事者等)、学校栄養指導栄養担当者、こども支援課栄養担当者、 福島県栄養士会いわき支部長、保健師、その他 ・第1回 内容：講演「認知症と栄養管理」、説明「基準 年の特定給食施設栄養管理調査票における、 講義「特定給食施設における衛生管理」、 肥活、やせの状況について」 ・参加人数：129名 ・第2回 内容：講演「健康診断結果をよりよく活かすために一検査 値を理解する」 事例発表①「適正休養である児童・生徒を増やすた めの学校給食での取り組みについて」 ②「健康診断から有所見者を減少させるための 社員食堂の取組みについて」 ・第3回 内容：講演「適正な栄養管理をするためには」「肥満 予防ややせを減少させ、生活習慣病や低栄養を予防 するためのには」 ・参加人数：93名 ・〇いわき市総合保健福祉センター2階栄養指導専 門 ・第3回 内容：講演・演習「特定給食施設における栄養管理と PDCAサイクルについて」 ・参加人数：36名</p>	113千円	継続	
						保健	H28	<p>3回実施 講演及び講話 〇1回目 講演及び講話 〇2回目 講演及び講話 〇3回目 講話及び情報交換</p> <p>〇開催回数：5回(延べ7回) 〇参加人数：382人 〇実施内容： ・第1回「健康推進員の役割と活動」「いわき市の健康づくり 体制について」「健康と栄養・食生活について」 ・第2回「免疫力を高め、夏バテを防ぐための食生活について」 講話及び調理実習 ・第3回「ロコモティブシンドロームを予防し、低栄養を予防する食 生活について」講話及び調理実習 ・第4回「身に付けよう食生活と食品衛生」講師：日赤救 急法講習指導員及び保健所栄養士 ・第5回 講話・実技「日常の中から気軽にエアロビック」</p>	276千円	
保健	19	健康推進員育成支援 事業	C-2	①④ ⑤⑬ ⑭	H10～	<p>健康づくり関連施策のより一層の効果的な実施を図る ために、地域ボランティアであるいわき市健康推進員活 動が積極的に展開されるよう、健康推進員の育成支援 及び組織の強化を図ることを目的とし、実施する。</p> <p>【根拠法令等】いわき市食育推進計画</p>	<p>〇開催回数：5回(延べ7回) 〇実施内容： ・第1回「健康推進員の役割と活動」「いわき市の健康づくり 体制について」「健康と栄養・食生活について」 ・第2回「免疫力を高め、夏バテを防ぐための食生活について」 講話及び調理実習 ・第3回「ロコモティブシンドロームを予防し、低栄養を予防する食 生活について」講話及び調理実習 ・第4回「身に付けよう食生活と食品衛生」講師：日赤救 急法講習指導員及び保健所栄養士 ・第5回 講話・実技「日常の中から気軽にエアロビック」</p>	311千円	継続	
						保健	H28	<p>〇開催回数：5回(延べ7回) 〇実施内容：講話、調理実習、実技等</p>	311千円	

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
保健所地域	20	被災者栄養・食生活支援事業	A-1	① ④ ⑤⑥ ⑦⑪	H23～	東日本大震災により被災した高齢者等の自立した生活を支援するために、災害公営住宅や一時提供住宅等の近隣の公民館等における栄養相談会(調理実習を含む)を実施し、良好な食生活を確立することにより、生活習慣病や低栄養を予防し、健康で張りのある生活を送れるようにする。 【根拠法令等】健康増進法、いわき市食育推進計画	H27 (実績) 対象者:災害公営住宅や一時提供住宅等に居住するいわき市民等(18歳以上の方) 内容:生活習慣病や低栄養を予防するための栄養講話、簡単で栄養バランスのとれたメニューの調理実習、試食会、交流、栄養相談 実施場所:各地区公民館等7回 参加人数:103人、栄養相談件数21件	278千円	継続	
						H28 平成27年度を以って終了。	—			
保健課	21	幼児むし歯予防対策事業	A-1	① ⑥	H20～	1歳6か月児と3歳児健康診査に実施している歯科健康診査にあわせ、歯質の改善や歯の表面の修復など、う蝕(むし歯)予防に有効な「フッ化物塗布」を実施する。 【根拠法令等】母子保健法第9条、歯科口腔保健の推進に関する法律、新いわき市総合計画実施計画等	H27 (実績) ・1歳6か月児健康診査 年79回 人 ・3歳児健康診査 年79回 人	3,421千円	継続	※平成27年度の数についてはご家庭で集計中。
						H28 ・1歳6か月児健康診査 年79回 2,700人 ・3歳児健康診査 年79回 2,900人	3,275千円			

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
保健所	22	地域歯科保健推進事業	A-1 B-1	① ⑥	H11~	歯及び口腔の健康を保つことは、単に食物を咀嚼するという点からだけでなく、食事や会話を楽しむなど、豊かな人生を送るための基礎となるものである。しかし、むし歯の有病状況は市民の保健上から依然として大きな課題であることから、乳幼児期からの生涯を通じた歯科疾患の予防、口腔機能の獲得・保持等により、心身ともに健康で心豊かな生活ができることを目的として、健康教育・健康相談を行う。 【根拠法令等】健康増進法第7条、母子保健法第9条、歯科口腔保健の推進に関する法律、厚生省老人保健福祉局長通知「保健事業実施要領」等	<ul style="list-style-type: none"> 歯ピカ教室 24回 147組 歯やお口の健康相談 電話 45件、来所 27件 健康教育(依頼により対応) 13回 457人 	468千円	継続	平成27年度より「歯周病予防相談」については、市民の歯科保健ニーズの高まりに伴い、歯科医師による診断を希望するケースが増加していることから、定期歯科健診の重要性を普及啓発を行い、歯科相談については従来からの来所相談で随時対応することとした。
							<ul style="list-style-type: none"> 歯ピカ教室 24回 歯やお口の健康相談(電話及び来所相談にて随時対応) 健康教育(依頼により対応) 	374千円	継続	
保健所	23	口腔・栄養ケア推進事業	A-1	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	H6~	歯科衛生士や栄養士が、障がい者や難病患者等を対象に訪問を行い、口腔内、栄養状態を調査し、本人及びその家族等へ適切な指導・助言を行う。また、市民を対象として生活習慣病を予防し健康寿命を延ばすための、健康教育等を行う。 【根拠法令等】健康増進法、健康いわき21(第2次)、第2次いわき市食育推進計画	<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導件数 延 38人 口腔指導 延 40人 栄養指導 健康教育 4回実施 	3,780千円	継続	
							<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導件数 延 80人 口腔指導 延 100人 栄養指導 健康教育 機会を捉え実施予定 	4,457千円	継続	
保健所	24	いわき健康チャレンジ事業	A-1 C-1	③ ④ ⑤	H28~	<ul style="list-style-type: none"> 県が実施する「ふくしま【健】民/バスポート事業」と運動し、市民(参加者)にインセンティブを付与する健康づくり推進事業を実施することにより、市民が自主的かつ、気軽に、無理なく、楽しく継続できる健康づくりの気運の向上を図り、市民が一体となって健康で暮らせる地域づくりを推進し、健康指標の悪化の改善や健康寿命の延伸を図る。 内容 <ul style="list-style-type: none"> スマートフォン所有者は、県の健康アプリをダウンロードし、歩数管理や健康チェック等を行い、3,000ポイントを達成するとスマホに「ふくしま【健】民」カードが表示される。スマホを所有していない者は、市で作成した台紙に、健康行動の取組み、健診・各種検診の受診状況、健康教室・講座・ボランティア等の参加状況を記入し、3,000ポイントを達成すると、市窓口より「ふくしま【健】民」カードが交付される。県内の協力店に「ふくしま【健】民」カードを提示すると、割引等のサービスが受けられる。その後も取組みを継続し、所定のポイントを達成するようソートアップした「ふくしま【健】民」カードが交付され、プレゼントキャンペーンに応募することができる。 【根拠法令等】健康増進法第17条、母子保健法第11条及び17条、歯科口腔保健の推進に関する法律、厚生省老人保健福祉局長通知「保健事業実施要領」等 	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始日 平成28年6月11日(土) 実施期間 <ul style="list-style-type: none"> ①健康行動の実行期間 平成28年6月11日(土)~平成29年3月10日(金) ②市窓口への台紙の提出期限 平成29年3月10日(金) 	0円(平成28年度は県予算で実施)	新規(継続)	※ 平成28年度新規事業。
							<ul style="list-style-type: none"> 事業開始日 平成28年6月11日(土) 実施期間 <ul style="list-style-type: none"> ①健康行動の実行期間 平成28年6月11日(土)~平成29年3月10日(金) ②市窓口への台紙の提出期限 平成29年3月10日(金) 			

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由	
保健福祉部	25	生活習慣病予防教室 (高血圧教室)	A-1	④⑤	H28～	<p>○平成25年人口動態統計による市民の死亡原因は、第2位が心疾患18%、第3位が脳血管疾患10.8%であり、国を100とする標準化死亡率においても、心疾患が男性128.4、女性117.9、脳血管疾患が男性127.8、女性132.5といずれも高い状況にある。心疾患、脳血管疾患の重症化を予防し、市民の健康寿命を延伸するため、高血圧教室を実施する。</p> <p>○内容 国特定健診において血圧が要指導となった市民(64歳までの方)等を対象に、高血圧を改善するための講座(医師による講演、栄養士による講話・調理実習、体育指導員による講話・実技)を開催し、行動変容のきっかけを作り、生活習慣の改善に向け取り組みを継続していただく。</p> <p>【根拠法令等】健康増進法、健康いわき21(第二次)、第2次いわき市食育推進計画</p>	<p>H27 (実績)</p> <p>—</p>	—	新規 (継続)	※ 平成28年度新規事業。	
						<p>H28</p> <p>○下記の内容について2クール実施 ○内容 ①講演「高血圧が身体に及ぼす影響、治療、予防について」(医師) ②講話・簡単な調理実習「高血圧を改善する食事療法について」(栄養士) ③講話・実技「高血圧を改善する運動について」(体育指導員)</p>	87千円				
こどもみらい部	26	食育計画推進事業	A-1 A-3 B-1 B-3 E-2	①④ ⑥⑦ ⑩⑪	—	<p>○公立保育所においては、「いわき市立保育所保育の計画(保育課程、年間指導計画)」「いわき市立保育所食育の計画」を策定。各保育所ではこれらにもとづき、食育の一つの柱として食育に取り組み体制作りを行い、計画を策定・施行する。(法人立保育所においてはこれを参考として、それぞれに計画、施行している。)子育て支援課は、保育所給食が食育の媒体となるよう、献立を策定、慣れない食べ物や嫌いな食べ物にも挑戦する機会を作り、給食を通し食事のバランス、食事量の調整等を体験したり、配膳、片付けに関わる体験や、挨拶、食事のマナーなどを身につけることなど、楽しい食育の中から食べることを通して、食を営む力の基礎を培う食育の実践を行う。* 食事時間に栄養差別「色分け4つのお皿のランチメニュー」を使用し給食を楽しみながら学ぶことも実践。</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	<p>H27 (実績)</p> <p>—</p>	—	公立、法人立保育所で実施	継続	
						<p>H28</p> <p>公立、法人立保育所で実施予定</p>					

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
こ	27	家庭との連携事業	A-1	①② ③④ ⑤⑥ ⑦⑧ ⑨⑩ ⑪	-	<p>○保育所給食の情報を提供し、乳、幼児期の食に関する正しい知識や望ましい食習慣の啓発を図る。</p> <p>○内容</p> <p>①食事たり、健康だより、食育ニュース等の発行</p> <p>②保育所給食のサンプル展示</p> <p>③交換給食(試食会)の実施</p> <p>④講習会の開催</p> <p>⑤保護者への食事調査実施。結果は保護者各位に通知。市ホームページにて公表(H22年度から公表)</p> <p>⑥放射性物質検査(調理前の食料と提供した給食)の結果を公表(H23年度から実施)</p> <p>⑦献立表の配布(年間の献立テーマを設定し、献立計画に基づき献立を作成)</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	公立、法人立保育所で継続事業を実施。	-	継続	
			B-1				B-2	B-3		
支	28	保育所給食担当職員研修会	B-1	⑬⑭ ⑮	-	<p>○保育所給食に従事している者を対象とし、食中毒事故防止と衛生管理に関する意識向上及び、調理技術、栄養管理の質向上を図る。また、個々の保育所で実践している食育事業の情報交換を行い、保育所給食での食育活動の充実を図る。</p> <p>○内容</p> <p>①調理実習</p> <p>②講演(衛生管理、感染症対策等)</p> <p>③保育所長会との合同研修</p> <p>④栄養情報の広達</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	2回開催 113人参加 公立保育所給食担当者58人 法人立保育所給食担当者24人 公立保育所所長31人	-	継続	
			B-3				H28	2回開催予定 125人対象 公立保育所給食担当者62人 法人立保育所給食担当者32人 公立保育所所長31人		
課	29	保育所地域活動事業	A-1	⑰⑱ ⑲	-	<p>○地域のお年寄り、祖父母などに、お餅作り、もちつきなど伝統的な食に関する行事や、地域で培われた食文化を体験し伝承等につなげる。</p> <p>世代間交流することで様々な人々と食事を共にする喜びを味わい、食事のマナーを身につけ、食を通して人とかわる力を養う。</p> <p>【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画</p>	公立、法人立保育所で実施	-	継続	
			A-3				B-1	B-3		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
こども	30	保育所食育活動 (調理体験)	A-1 A-3 B-1 B-3 E-2	①⑦ ①⑮	—	○保育所において、子ども自ら食事の準備、調理、後片付けまでの食事づくりにかわり、いのちあるものを出会いを体験し、育てることの喜び、いのちを大切にすることを養う。収穫したものを皆で分け調理し、楽しく食べることで、食への関心を高め、食を営む力の基礎を培う食育の実践を行う。	H27 (実績) 公立、法人立保育所で実施	—	継続	
						○具休例 カレーパーティー、レストランっこ、お店屋さんごっこでのクッキング、誕生会にクッキングパーティーなど 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H28 公立、法人立保育所で実施予定	—		
こども	31	保育所食育活動 (野菜等の栽培体験)	A-1 A-3 B-1 B-3 D-1 E-2	①⑦ ①⑮	—	○野菜等を子どもたちが仲間とともに栽培し、収穫すること自然とかわり、いのちあるものに出会いを体験し、育てることの喜び、いのちを大切にすることを養う。収穫したものを皆で分け調理し、楽しく食べることで、食への関心を高め、食を営む力の基礎を培う食育の実践を行う。	H27 (実績) 公立、法人立保育所で実施 *震災後の放射線関係の影響から内容等を考慮して実施。	—	継続	
						○具休例 野菜、果物などの栽培をして、収穫祭、焼き芋会、スイートポテト作りなどを実施。 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所保育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H28 公立、法人立保育所で実施 *震災後の放射線関係の影響から内容等を考慮して実施。	—		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
こ ど	32	保育所食育活動 (保育中の食育遊び)	A-1 B-1	①④ ⑥⑦ ⑩⑫	-	○保育中の遊びの中に食育内容を取り入れ、遊びとおもしろい経験の中で、食の話題を広げ、食べ物に興味・関心を持たせることで、食を営む力の基礎を培い、楽しく食べることができると子どもへの食育実践を行う。	H27 (実績) 公立、法人立保育所で実施	-	継続	
						○食育用媒体などを使用して活動 カルタ、紙芝居、絵本、食べ物絵カード、栄養素列色分け4つのお皿のランチョンマットを使用した遊びなど。 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所食育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H28 公立、法人立保育所で実施予定	-		
こ も も	33	保育所食育活動 (アレルギー除去食の実施)	A-1 B-1 B-3	①⑦ ⑨	-	○食物アレルギー一児に対し、主治医のアレルギーマニエスタ生活管理指導表にもとづき、保護者との連携をとりながら、集団給食の中で可能な限りの除去食を実施。食物アレルギー一児は除去食を前向きにとらえ、今後の食生活への自信と自立心を、周囲の子どもたちには思いやりやの心を養うことを図り、食が健康を維持、増進させることを理解し、食を営む力の基礎を培い食育実践を行う。	H27 (実績) 公立、法人立保育所で実施	-	継続	
						【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所食育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H28 公立、法人立保育所で実施予定	-		
こ も も	34	保育所食育活動 (保育士の給食の喫食)	A-1 B-1 B-3	①⑥ ⑦⑫	-	○保育士の保育所給食の喫食 児童と同じ給食を喫食することを通して、保育所での食育をより推進する。 【根拠法令等】保育所保育指針、いわき市立保育所食育の計画、食育基本法、いわき市立保育所食育の計画	H27 (実績) 一部の法人立保育所で実施。公立保育所では、H22から市内4保育所で試行を開始し、試行内容を踏まえ、課題等の整理、検討を行い、H23は市内8保育所、H24は市内16保育所に試行保育所数を拡大して実施した。H25年度からは施設面にて対応が現状では困難な1保育所を除き実施となる。平成26年度からは全部の公立保育所において実施。	-	継続	
						全公立保育所において実施予定。	-			

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
こどもみらい部	35	プレママ・プレパパクラス	A-2 A-4	① ④ ⑦ ⑩	H6～	○子育てを行う両親の多様なニーズに対応し、妊娠・出産・育児に関する適切な情報の提供や仲間づくり等の支援をすることで、両親が前向きに安心して子育てが出来ることを担う。その中に妊娠と栄養の関係について盛り込み、講話と調理実習を通して妊娠期の食事の大切さを知る。	H27 (実績) 11コース(平日6コース:4回シリーズ、日曜6コース:2回シリーズ)実施 参加実人数 プレママ155人 プレパパ139人 計294人	319千円	継続	
						【根拠法令等】母子保健法、いわき市子ども・子育て支援事業計画	H28 12コース(平日6コース:4回シリーズ、日曜6コース:2回シリーズ)	463千円		
こどもみらい部	36	離乳食教室	A-2	① ④ ⑥ ⑦ ⑩ ⑫	H10～	○食生活の第一歩である離乳食を正しく理解し、無理なくつづめることで、健康づくりの基本であるよい食習慣を身につけるとともに、口腔衛生の知識を得、児の心身の健やかな成長を図る。	H27 (実績) 年12回実施、157組参加	241千円	継続	
						【根拠法令等】母子保健法、いわき市子ども・子育て支援事業計画	H28 月1回開催、1回15組	194千円		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定		事業費	今後の方向性	見直し等の理由
							H27(実績)	H28			
農林水産部	水産	いわき産水産物魚食普及推進事業	B-1 B-2 C-3 D-3 E-1	⑧⑩ ⑪	H21～	市水産業振興プランの着実な推進に向け、水産物のPRと地産地消を基本に、公民館市民講座と連携した活動等を通じ、魚食普及を推進するもの。 【根拠法令等】いわき市水産業振興プラン(H21～H25)、第2期いわき市水産業振興プラン(H26～)	○公民館の市民講座と連携した魚食普及推進の取り組み 公民館の市民講座(料理教室等)へ、いわき産水産物を提供し、それを活用したメニューを市民講座の講師から受講者へ伝えてもらい、魚食普及を推進した。(中央公民館、豊間公民館等と連携) ○水産物の消費及び販路拡大に向けた取り組み 東洋大学文化祭等の首脳園で開催されるイベントへ出席し、いわき産水産物のPRを行い、消費及び販路拡大を推進した。(福島県緊急雇用創出事業 水産物消費拡大事業と連携)	672千円	継続		
			H28	○公民館の市民講座と連携した魚食普及活動 ○市民学習会による魚食普及活動	212千円						
農林水産部	農業振興	農山漁村学習体験事業	B-1 D-1 D-2 F	①⑥ ⑩	H24～	本市の農林水産業の特色や復興への姿を紹介した学習資料を子どもたちに配布することにより、本市一次産業への理解の醸成を図る。 また、新市部の小中学生や学校関係者等を対象に交流事業を実施し、各種体験学習等を通じて震災からの復興へ向かう姿を学ぶことにより、本市農山漁村への理解を深めてもらい、震災で疲弊した農山漁村の復興への糸口とする。 【根拠法令等】いわき市農山漁村体験交流事業補助金交付要綱	①学習資料作成・配布部数 4,100部(市内小学校及び関係機関) ②農山村の生活体験、参加者及び関係者等による交流事業 4回実施、137人参加	1,763千円	継続		
			H28	①学習資料作成・配布予定部数 4,100部(市内小学校及び関係機関) ②農山村の生活体験、参加者及び関係者等による交流事業	1,903千円						

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
農	39	第四期新農業生産振興プラン推進事業(補助金(料理教室関係))	D-1 D-2 D-3	① ⑦ ⑪ ⑫	—	【目的】地元で生産された農産物を使った料理教室や地域に伝わる伝統料理に関する料理教室を開催し、地産地消の推進を始め、農産物のPRを図る。 【内容】 ・いわきの農産物を使った料理教室の開催 ・地域の伝統料理教室の開催 【根拠法令等】第四期新農業生産振興プラン	<ul style="list-style-type: none"> ・いわきの農産物を使った料理教室の開催 ・地域の伝統料理教室の開催 	90千円	継続	
							<ul style="list-style-type: none"> ・【目的】地元で生産された農産物を使った料理教室や地域に伝わる伝統料理に関する料理教室を開催し、地産地消の推進を始め、農産物のPRを図る。 【内容】 ・いわきの農産物を使った料理教室の開催 ・地域の伝統料理教室の開催 	100千円		
水	40	いわき普野菜生産拡大推進事業(料理教室関係)	C-1 C-2 C-3 D-2 D-3	① ⑦ ⑪ ⑫ ⑬	H22～	【根拠法令等】第四期新農業生産振興プラン	<ul style="list-style-type: none"> ・【目的】本市の地域資源であるいわき普野菜(在来作物)を活用した料理教室や農業体験の実施、いわき普野菜の魅力を知ってもらうためのいわき普野菜フェスティバルを開催し、食文化への理解と農業の魅力を発信すると共に、地産地消の推進と食農教育の推進を図る。 【内容】 ・いわき普野菜フェスティバルの開催 ・いわき普野菜を活用した料理教室の開催 ・いわき普野菜を活用した農業体験教室の開催 	—	新規 (継続)	
							<ul style="list-style-type: none"> ・【目的】本市の地域資源であるいわき普野菜(在来作物)を活用した料理教室や農業体験の実施、いわき普野菜の魅力を知ってもらうためのいわき普野菜フェスティバルを開催し、食文化への理解と農業の魅力を発信すると共に、地産地消の推進と食農教育の推進を図る。 【内容】 ・いわき普野菜フェスティバルの開催 ・いわき普野菜を活用した料理教室の開催 ・いわき普野菜を活用した農業体験教室の開催 	1,732千円		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
観 光 交 流 室	41	ふるさと産品育成事業	F	① ⑦ ⑩ ⑪ ⑫	H24～	「地域における資源、技能等その特性を生かして生産し、又は加工されたふるさと産品の育成を図り、地域経済の活性化に資する」ことを目的に、ふるさと産品育成に係る事業に対し、補助金を交付する。	H27 (実績) 交付団体:7団体 交付対象事業 (1)徳島県市における「かつお揚げびし」のPR (2)いわき市産トマトのオーガニック産品の開発 (3)販路開拓 (4)新商品(漬物)の開発 (5)新商品(フラーボト)の開発 (6)東京で七輪陶器とちぎり絵の販売 (7)川前町桶売地区大根を使用した新商品開発	1,500千円	継続	
							H28 交付団体:5団体 交付対象事業 (1)サンシャイントマトを使った軟むヨーグルトの開発・宣伝 (2)いわき産トマトを使用した漬物・惣菜の開発・宣伝 (3)北真焼を数升の開発・宣伝 (4)かつお南蛮揚げびし (5)商品の宣伝・販路開拓	1,500千円		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
教 育 委 員 会	学 校 教 育 課	各学校の「食育全体計画」における食育指導の事業実施	B-1	①② ③④ ⑤⑦ ⑧⑩ ⑪⑬	H19～	各学校が、食育基本法や児童生徒の食生活の実態を踏まえて作成した「食育全体計画」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員や食育推進コーディネーターを中心に、学級活動、家庭科、保健体育科等、教育活動全体を通して食育を推進する。 【根拠法令等】食育基本法	H27 (実績) ○ 各小中学校から希望を募り、栄養教諭・学校栄養職員による「食に関する指導」を実施した。 ・ 小学校:64校・140時間 ○ 各小中学校において、食育コーディネーターを中心に、食育全体計画に基づく食育指導を推進した。	—	継続	
							H28 ○ 各小中学校から希望を募り、栄養教諭・学校栄養職員による「食に関する指導」を実施する。 ○ 各小中学校において、食育コーディネーターを中心に、食育全体計画に基づく食育指導を推進する。 ○ 各小中学校から希望を募り、食に関する集団指導や特別に指導が必要な児童生徒と保護者等への個別指導、さらに教職員や保護者を対象とした講義・講話等による指導支援を行うことにより、食に起因する課題解決のための一助とし児童生徒、学校の実態に応じた効果のある食育が推進する栄養教諭「食育専門家派遣事業」を実施する。	—	継続	
学 校 支 援 課	学 校 支 援 課	学校給食における廃油リサイクル	E-2	①	H16～	共同調理場からの廃油をリサイクルすることにより児童生徒に循環型社会を意識付ける。	H27 (実績)	1,259千円	継続	
							H28	—	継続	

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・指規法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の方向性	見直し等の理由
教育委員会	44	食の安全性・栄養に関する調査と情報の提供	E-1 F	① ⑦ ⑧ ⑩	H20～	学校給食の食材についての、安全性の確認書や栄養成分一覧を、学校給食運営委員会等に情報提供する。	H27 (実績) 平成27年度は学校給食共同調理場運営委員会を開催し、安全性の確認書や栄養成分一覧を学校給食運営委員会等に情報提供した。 また、学校給食で使用する食品の放射性物質検査を民間委託し、結果と産地について市のホームページで公開するとともに、2か月に1回チラシを作成しすべての保護者へ配付し周知を図っている。	—		
							H28 (実績) 平成28年度も同様に学校給食共同調理場運営委員会を開催し、安全性の確認書や栄養成分一覧を学校給食運営委員会等に情報提供していく。 また、学校給食で使用する食品の放射性物質検査の民間委託、結果の公表等内容についてもこれまでと同様に行っていく。	—		
教育委員会	45	地産地消の取り組みと郷土料理の給食実施	D-2 D-3 E-1	① ④ ⑦ ⑩ ⑪	—	地域で取れた農産物を学校給食で利用したり、郷土料理を学校給食献立に取り入れ、食文化の伝承につなげる。	H27 (実績) 学校給食で使用する食品の放射性物質検査を行い安全を確認し使用しているところであり、市教育委員会基準を超えた食材については使用しないことから、より安全な食材を選定して献立作成している。 なお、食材の選定にあたっては、国や県のモニタリング結果を参考にして、安全が確認されたものは産地にかかわらず使用している。	—		
							H28 (実績) 学校給食は全ての児童生徒に提供されるものであり、安全安心が基本。保護者の理解を得ながら地元食材も使用していく。	—		

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
福 島 県	い わ き	食育実践サポーター派遣	A-1	①	H26～	食育体験や交流、食生活改善、地域の食文化や郷土食の伝承等の活動を先進的に実践する方々を「食育実践サポーター」として登録、子どもを対象とした食育推進に取り組み学校や地域団体等からの要請に応じて派遣し、支援活動を行うことにより、食育実践活動の普及拡大を図る。 【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画、ふくしま食育実践サポーター制度実施要領	○サポーターの登録人員 15人 ○サポーターの派遣 実施年月日 平成27年6月10日 実施場所 いわき市立汐見が丘幼稚園 対象者 幼稚園児、保護者及び幼稚園職員計72名 実施内容 朝食や食の大切さのお話	19千円	継続	
			B-1 C-2 D-1 D-3							
農 林 事 務 所	47	食農応援メニュー	D-1 D-2 D-3 E-1	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	—	福島県で実施する「食」や「農林水産業」に関する出前講座や体験学習、見学可能な施設などを「食農応援メニュー」としてまとめ、「食」や「農林水産業」の理解推進を図る。 【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画	○出前講座(食品の適正表示について) 県高等学校教育研究会農業部会教科研究会、福島県高等学校教員研究会、高等学校教員 対象者:67人(77マースマース部員、高等学校教員)	—	継続	根拠法令等の「福島県食育推進計画(二次計画)」及び「福島県農林水産部における『食育』の取組について」は、平成26年度までの計画期間であることから平成27年度以降は新たな計画及び取組に基づき事業を実施する。

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野記号	指標番号	実施年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度専業実績・平成28年度専業予定		事業費	今後の方向性	見直し等の理由
							H27(実績)	H28			
福島県	48	ふくしまの農育推進事業	A-3 C-1 C-2 C-3 D-1 E-2	①⑦⑧⑫⑭	H21～	<p>【事業の目的】 地域の未来を担う子どもたちが「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」について理解を深め、豊かな感性と深い見識を持つことを目指して、農村地域の重要な要素である田んぼ、水路、ため池等において自然環境を遊びと学びの場として活用した体験型学習や土地改良施設の見学等を行う。</p> <p>【事業内容】 1年間を通じて、開校式、田植え、生きもの調査、稲刈り、はさがけ、収穫祭、成果発表の活動を行う。</p> <p>【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画</p>	<p>○対象 いわき市立草野小学校5年生児童74名、担当教諭、地元農家、保護者</p> <p>H27 (実績)</p>	<p>○対象 いわき市立草野小学校5年生児童84名、担当教諭、地元農家、保護者</p> <p>H28</p>	32千円	継続	
福島県	49	木とのふれあい創出事業	E-1	①⑦⑧⑫⑭	—	<p>小・中学生に木工用資材を提供し、木工工作体験や、木材関係者等の木工工作技術指導支援による木育活動によって、木や森林に対する意識の醸成を図り、県産材の利用拡大につなげる。</p>	<p>○内容 ①森林・林業と木材に関する講話 ②林業・木材産業者の指導による木工工作体験 1回開催 16人参加 【児童15人、教師1人】</p> <p>H27 (実績)</p>		—	継続	

平成28年度 食育に関する事務事業一覧

所属	No.	事業名	分野 記号	指標 番号	実施 年度	事業概要・根拠法令等	主な平成27年度事業実績・平成28年度事業予定	事業費	今後の 方向性	見直し等の理由
福島県	50	県産農林水産物の安全・安心実感ツアー	E-1	⑧ ⑭	H26～	<p>【事業の目的】消費者の県産農林水産物の安全性に対する理解促進と安心感を醸成する。</p> <p>【事業の内容】農林漁業者や加工業者等の安全確保に向けた取組や放射性物質検査の手順等について、見て、聞いて、体験するツアーを実施する。</p> <p>【根拠法令等】ふくしま農林水産業新生プラン</p>	<p>○「いわきの農業・林業・水産業まるごと体験ツアー」 実施年月日 平成27年8月8日 参加者 県内小学校の親子14組28名 視察先 農林水産業施設の見学や収穫体験(大和田自然園、小名浜魚市場、調査指導船「いわき丸」) 農産物の放射性物質検査見学(JAIいわき市第一営農経済センター)</p>	—	継続	
						H28	○実施内容 小学生の夏休み期間に開催予定。	—		
福島県	51	元氣なふくしまっ子「食」体験・交流推進活動	A-1 B-1 B-2 C-2 D-1 D-3	① ⑦ ⑧ ⑭ ⑰	H26～	<p>地域の農林水産業者や住民等との連携を図りながら、子ども達を対象とした農産物の生産、出荷、流通、販売、調理など様々な食に関する体験や交流会を主体とした食育活動を通じ、子ども「食」や「環境」に対する理解の推進と安心感の確立を図る。</p> <p>【根拠法令等】第三次福島県食育推進計画</p>	<p>○実施内容 いわきの特産品などの栽培・収穫体験、加工実習、試食交流会など、子どもの目線に立った「食」体験・交流活動を3回実施した。 ○参加者 延べ36名</p>	—	継続	
						H28	現在、業務委託団体の募集中	—		

新規12年度調査時に未掲載であったもの		
No.	イベント等概要	
1	イベント等名	食の子ども探検隊(一日食品衛生監視員体験)
	開催日	平成28年7月21日(木)
	主催者	いわき市保健所
	内容等	<p>【目的】 行政の取り組みや食品営業施設での食品の取扱いを知ってもらうため、大型小売店(スーパー)のバックヤードへ食品衛生監視員とともに立入りしてもらい、食品事業者がどのように食の安全に取り組んでいるのか、どのように消費者に安全・安心な食品を届けているのかを実際に見て、聞いて体験をすることで、食品の安全性について考え、自主的に食の安全・安心の確保に取り組む姿勢を育むことを目的とする。</p> <p>【主な対象者】 小学校5、6年生</p> <p>【内容】 ① 委嘱状の交付 ② 講習(食品衛生監視員の業務内容及び食品衛生について) ③ 手洗い実習 ④ バックヤード及び店頭での監視 ⑤ 感想発表及び意見交換</p>
2	イベント等名	食の安全フォーラム
	開催日	平成28年10月頃
	主催者	消費者庁、福島県消費生活課、いわき市保健所
	内容等	<p>【目的】 食品取扱者や消費者である市民に対し、食と放射能に関する適切な情報を提供し、正しい知識を身につけてもらうことにより、食品安全に関するリスクコミュニケーションの推進を図る。</p> <p>【主な対象者】 市民</p> <p>【内容】 ① 講演 ② 質疑応答 など</p>
3	イベント等名	食育インフォメーション
	開催日	平成28年6月中の一週間(5日間)
	主催者	保健所地域保健課
	内容等	<p>【目的】 市民の食生活に関する相談等を行い、食育の推進に寄与する。</p> <p>【主な対象者】 市民</p> <p>【内容】 パンフレット等の掲示及び、健康相談。</p>
4	イベント等名	食育フェスタ
	開催日	平成28年9月3日
	主催者	保健所地域保健課
	内容等	<p>【目的】 市民の食育の取り組みを支援する。</p> <p>【主な対象者】 市民</p> <p>【内容】 体験型食育コーナーの運営</p>
5	イベント等名	お魚マイスターによるお魚教室
	開催日	10月頃予定
	主催者	農林水産部水産課
	内容等	<p>【目的】 本市水産業の現状や魚の調理方法等を学ぶ市民学習会を開催し、いわき産水産物の魚食普及を推進する。</p> <p>【主な対象者】 小学5、6年生及びその保護者</p> <p>【内容】 本市水産業の現状や魚について学び、実際に魚を捌いて食べる。</p>

新規(27年度調査時に未掲載であったもの)		
No.	イベント等概要	
6	イベント等名	いわき野菜アンバサダーセミナー
	開催日	定期的(2か月に1回程度)に開催
	主催者	農林水産部 農業振興課
	内容等	<p>【目的】 消費者自らによる積極的な情報発信を促進させるため、“いわき産農林水産物の応援大使”を募集し、いわき産農林水産物に関する基礎知識を学ぶセミナーを開催</p> <p>【主な対象者】 情報発信が可能な消費者</p> <p>【内容】 いわき産農林水産物の特徴などを、パワーポイントを使い紹介 受講者には、いわき野菜アンバサダー認定証を発行</p>
7	イベント等名	いわきの食
	開催日	平成28年10月(予定)
	主催者	一般社団法人 いわき観光まちづくりビューロー
	内容等	<p>【目的】 首都圏での本市物産の取扱いの推進及び風評払拭を図る。</p> <p>【主な対象者】 消費者、生産者、販売者</p> <p>【内容】 本市で採れた食材や特産品を使用した「食」のイベントを開催する。</p>
8	イベント等名	親子ふれあい弁当デー
	開催日	平成28年度中 年1回～数回
	主催者	学校支援課
	内容等	<p>【目的】 食に対する感謝の気持ちの涵養 子どもの発達段階に応じた食育の推進、保護者への普及啓発</p> <p>【主な対象者】 全児童生徒・保護者</p> <p>【内容】 小中学生が家族や地域とふれあいながら自分の弁当作りにかかわり、家族と一緒に自分がかかわった弁当を学校に持ち寄ることで、みんなで「食」について考えたり家族とのかかわりの大切さを実感する機会を創出できるように、各学校にて計画・実施する。</p>
9	イベント等名	食育講演会
	開催日	平成28年度中 1回
	主催者	学校支援課
	内容等	<p>【目的】 生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むのが食育の目的であり、地域の人すべてを対象とした講演会を開催することによって学校のみならず、市民の食育を推進する事業として位置付けていく。</p> <p>【主な対象者】 保護者</p> <p>【内容】 食全般に関する講演会を開催することにより、学校・家庭・地域の連携と、それらを世代へつなげることのきっかけとなるような講演会を開催し、食育の環を広げていく。</p>

新規(27年度調査時に未掲載であったもの)		
No.	イベント等概要	
10	イベント等名	「地元シェフ給食」交流会食会
	開催日	平成28年9月下旬
	主催者	学校支援課
	内容等	<p>【目的】 地元シェフ考案の地元の食材を使用した給食を小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、子どもたちの好き嫌いをなくすきっかけをつくるほか、地域に根ざした食文化、地域への理解につなげる。</p> <p>【主な対象者】 華正樓シェフ、高久小学校児童、教育委員会、学校給食調理担当</p> <p>【内容】 地元シェフから小学生向けに、献立作成に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め地域に根ざした食文化について学ぶ。</p>
11	イベント等名	「かじきカツ給食」交流会食会
	開催日	平成28年11月下旬
	主催者	学校支援課
	内容等	<p>【目的】 県立いわき海星高校の実習船「福島丸」が水揚げしたかじきを地元の加工業者が加工した「かじきカツ」を全小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、食に対する関心を高め、感謝の気持ちを育む。</p> <p>【主な対象者】 いわき海星高校生徒、好間第一小学校児童、加工業者、教育委員会、学校給食調理担当</p> <p>【内容】 海星高校生徒から小学生向けに、漁に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め感謝の気持ちを育む。</p>
12	イベント等名	磐城農業高校のオリジナル食材使用の交流会食会
	開催日	平成28年12月中旬
	主催者	学校支援課
	内容等	<p>【目的】 県立磐城農業高校の食品加工実習で製造した地元食材を使用した「梨ジャム」や「トマトジュース」を小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、食に対する関心を高め、感謝の気持ちを育む。</p> <p>【主な対象者】 磐城農業高校生徒、中央台南小学校児童、教育委員会、学校給食調理担当</p> <p>【内容】 磐城農業高校生徒から小学生向けに、食品加工に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め感謝の気持ちを育む。</p>
13	イベント等名	「和食給食」交流会食会
	開催日	平成29年1月下旬
	主催者	学校支援課
	内容等	<p>【目的】 地元料理人考案の「和食給食」を小中学校に給食として提供し、代表校で交流会食会を行うもので、食に対する関心を高め、日本の伝統的な食文化の伝承と普及につなげる。</p> <p>【主な対象者】 田町平安料理人、久之浜第一小学校児童、教育委員会、学校給食調理担当</p> <p>【内容】 地元料理人から小学生向けに、献立作成に関する苦労や食材に対する思い等の説明を行った後、一緒に給食を頂く事により、食に対する関心を高め日本の伝統的な食文化の大切さを学ぶ。</p>

新規(27年度調査済に未掲載のもの)		
No.	イベント等概要	
14	イベント等名	公民館事業とのタイアップ
	開催日	平成28年度中 数回
	主催者	公民館
	内容等	<p>【目的】 核家族化や共働きなどライフスタイルの変化、ニーズの多様化に伴い、外食・中食・ファーストフード等の利用が増えるなど食習慣の乱れが問題となっている現在、学校と家庭と地域のかかわりを広げる場としての公民館活用など、学校食育推進事業として位置付けていく。</p> <p>【主な対象者】 幼児から高齢者まで</p> <p>【内容】 公民館活動に合わせ、学校給食や学校における食育活動に連携するような事業にかかわっていく。</p>
17	イベント等名	田んぼの学校
	開催日	平成28年5月下旬～平成28年11月 予定（通年）
	主催者	福島県いわき農林事務所 農村整備部
	内容等	<p>【目的】 地域の未来を担う子どもたちが「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」について理解を深め、豊かな感性と深い見識を持つことを目指して、農村地域の重要な要素である田んぼ、水路、ため池等において自然環境を遊びと学びの場として活用した体験型学習や土地改良施設の見学等を行う。</p> <p>【主な対象者】 いわき市立草野小学校5年生</p> <p>【内容】 開校式・田植え、生き物調査、稲刈り・はさがけ、収穫祭(成果発表)</p>
18	イベント等名	県産農林水産物の安全・安心実感ツアー
	開催日	小学生の夏休み期間中に開催予定
	主催者	福島県
	内容等	<p>【目的】 消費者の県産農林水産物の安全性に対する理解促進と安心感を醸成する。</p> <p>【事業の内容】 農林漁業者や加工業者等の安全確保に向けた取組や放射性物質検査の手順等について、見て、聞いて、体験するツアーを実施する。</p> <p>【主な対象者】 県内小学生の親子</p> <p>【内容】 未定</p>
19	イベント等名	ふれあい農園
	開催日	平成28年5月、9月、平成29年3月(予定)
	主催者	いわき農業青年クラブ連絡協議会
	内容等	<p>【目的】 野菜作りを通して消費者が農業者と交流し、農業への関心と理解を深める。</p> <p>【主な対象者】 いわき市内在住者</p> <p>【内容】 農業青年クラブ員(農業者)の助言のもと、消費者自らが農園での野菜栽培等を体験するとともに、収穫祭等を開催するなど、消費者と農業者の交流を深める。</p>
20	イベント等名	ふれあい農業講座
	開催日	平成28年5月、7月、8月、10月(予定)
	主催者	いわき農業青年クラブ連絡協議会、渡辺保育所、常磐第一保育園
	内容等	<p>【目的】 生産者との交流により園児に野菜など作物を作る楽しみと収穫の喜びを味わってもらうことを目的とする。</p> <p>【主な対象者】 渡辺保育所及び常磐第一保育園園児</p> <p>【内容】 農業青年クラブ員(農業者)の助言のもと、野菜栽培を体験するとともに、収穫物の調理を通して園児との交流を深める。</p>